

## From the Editor

今、デジタル革命が着実に進展している。日本のITサービス業には、今後この動きを先導していくことが求められる。その点での我々SIerの強みは、現下の顧客ニーズを把握していることにある。そのような現下のニーズと技術進歩の成果を掛け合わせることで、顧客のビジネスに革新を起こすことが可能となる。今号のSOFTECHSでは、その萌芽とも言える取組みを中心に企画・構成した。

### ■ CAC上海モバイルソリューションの取組み

CAC上海には、モバイル保険販売プラットフォームの経験・知識を中心にモバイルソリューションの取組みをまとめてもらった。日本にも見積り比較や契約者サポートのアプリは存在するが、上海のものと同様の事例は見かけない。グローバル展開というと、日本のSIerはつい、欧米のものを日本へ、日本のものを世界へと考えがちだが、中国の経験を日本で活かす発想も必要と思わせる。

### ■ 車載システム開発の技術動向と現場での取組みのご紹介

車載システム開発の記事にも注目いただきたい。かつてはプラントなどのプロセス制御や産業用ロボット制御のシステムを手掛けていたものの、長らくビジネスアプリケーション中心の事業展開となっていた当社には、ほぼ新規分野である。既に大きな市場が立ち上がっているが、自動運転の普及を睨み、さらなる成長とイノベーションが見込まれる、チャレンジングな分野である。

### ■ AIへの接し方～医薬・医療業界の動向とCACクロアの取組み～

グループ会社のCACクロアはAIをテーマに取り上げた。製薬会社にとって新薬開発は生命線だが、巨額の費用、長い開発期間、成功確率の低さが大きな負担となっており、AIを活用して開発効率を高めることに強い期待が寄せられている。そうした状況を踏まえ、現状と課題を整理してもらった。

### ■ 年金制度の最近の変更とそれに対する当社の取組み

少子高齢化が進む中、受給者にとっても企業経営者にとっても年金制度の持続可能性は重大な関心事である。当社は企業年金システムにおける長年の経験に加え、有識者の招聘により、年金制度について高い専門性を有するに至っている。それを活かし、最近の動向と今後の課題を整理した記事も読み応えのあるものになった。

### ■ 低価格・短納期・高品質で監視環境を構築する「まるごとおまかせZabbix」のご紹介

グループ会社のアークシステムは、オープンソースの統合運用監視ソリューションであるZabbixを活用するサービスを紹介している。自社の監視に課題があってもその改善にコストや時間を掛けられないユーザー企業にとって、1つの解になると思われる。

### ■ 外国為替業務「LC付輸出手形買取」の実務とシステム概要～銀行業務のIP蓄積活動の成果から～

当社にとって銀行業務のシステム開発は長年の主力分野であり、積み重ねた経験は競争力の源泉となっている。その経験を知的財産(IP)として整理・蓄積する活動の成果から、今回、外国為替業務「LC付輸出手形買取」について紹介している。SEだけでなく、これから銀行業務に携わる方にも役立てていただける、内容の濃いものとなっている。

### ■ サーバーレスアーキテクチャで何が変わるのか

近年、クラウド上でアプリケーションを開発する手法としてサーバーレスアーキテクチャが注目を集めている。当社でAWS(Amazon Web Services)関連サービスを開発・提供する部隊が、実際にAWSのLambdaを用いて行ったPoC(Proof of Concept:コンセプト検証)をもとに論考をまとめたので、参考にさせていただけるであろう。

### ■ CACとAI

コラムでは、当社とAIの関わりを取り上げた。今日のAIブームは第三次と言われているとおり、過去にもブームがあった。その頃の当社の取組みを概観し、革新的技術と言われるものの来し方行く末を思うよすがにさせていただければ幸いである。

(K)